

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名 『 超音波検査による下肢動脈の血行動態的評価に R-P 時間比の有用性についての検討 』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 臨床生理機能検査(大橋)部 職位・氏名 次長 藤崎 純

【情報の利用目的】

東邦大学医療センター大橋病院 臨床生理機能検査部では、当院の循環器内科にて下肢動脈に対する血管内治療(EVT)前後の血行動態的評価を超音波検査(下肢動脈エコー)により簡便に計測できる R-P 時間比を用い後方視的に有用性を検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、下肢の血行動態的評価、特に膝下病変に対する治療効果判定、経過観察時における増悪の程度や治療介入の必要性のひとつの指標となり得る可能性につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

下肢動脈エコー所見と検査時に計測している血流評価の指標(R-P 時間)、ABI(上腕と足首の血圧を測定してその比(ABI)を計算することで、動脈の内腔が狭くなっていないかどうかを調べる検査)を用います。

【情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年3月より利用を開始します

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他機関への提供は行わないため該当せず

【情報の取得方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2019年4月～2022年2月までに東邦大学医療センター大橋病院

循環器内科において、下肢動脈エコーを受けた方、下肢動脈に対する血管内治療を受けた方で治療前後に下肢動脈エコー検査を施行した方が対象となります。

対照群 約 100 人(下肢動脈に病変を全く認めず、心疾患を伴っていなかった症例)

病変群 約 300 人(総大腿動脈以遠病変に対する EVT を行い、術前・術後にエコーおよび ABI を同時期に検査した約 300 人。なお、EVT 不成功症例、不整脈症例、計測部位で血流シングルを認めないもしくは逆流している症例は除外する。)

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 臨床生理機能検査部

研究代表者: 藤崎 純 役職: 次長

【利用する者の範囲】

臨床生理機能検査部の超音波検査に携わる者(5人)

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年4月30日までに下記へご連絡下さい。研究対象者および代諾者から申し出のあった方の情報は、利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 臨床生理機能検査部

職位・氏名 次長 藤崎 純

電話 03-3468-1251 内線 3184